

希学園 第402回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第402回公開テスト 小3国語 解説動画(2025年11月9日実施)	https://vimeo.com/1134860537/c71152dad5

1

①

強風

②

教わる

③

新米

④

羽毛

⑤

東西

2

1

おすじカ

2

出産

〔おすじか・オスジカ・オスじかは2点減点〕

3

えさを食べ

4

群れの行動

5

A

オ

B

イ

6

I

1

II

2

III

2

3

1

ゆり子(さん)

2

メ

3

A

エ

B

サンタクロース

C

イ

D

白いわたのひげ

4

おてっだい

5

もよう

6

ウ

配点

1

各2点×5＝10点

2～3

各5点×18＝90点

＜計＞100点

- ① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「強風」は強い風。「強」の「虫」の部分ぶぶんを正しく六画で書くこと。
- ②「教わる」は教えてもらうこと。「教える」とは立場が反対になることばである。③「新米」はその年にとれた米。新しく仲間なかまに加わった人、その仕事を始めて間がなく不慣れな人の意味でも用いる。④「羽毛」は鳥類の羽。ふとんや防寒着ぼうかんぎに使うと温かい。⑤「東西」は東と西、またはその方向。東洋と西洋の意味で用いることもある。「つらぬいて」ははしからはしまで突き通してということ。

② 増田辰樹 『科学のアルバム シカのくらし』

(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

- 1 「めすジカ」と対つ(＝セット)になるのは当然「おすジカ」である。問いをよく読んで、何が問われているのかをしつかりとつかもう。また、ひらがな・カタカナの表記は、本文中の「めすジカ」に合わせるべきである。
- 2 「結婚」ではない。「結婚」は「秋」である。「五月も半ばをすぎると」とあるので「春から夏にかけて」のころである。また、「おなか」が、大きくふくらんで」とあり、「おなかに子どもがいる」とある。
- 3 直後にはつきりと書いてある。は乳類の母と子はずっといっしょにいるイメージが強いが「シカの親子」はちがうようである。
- 4 少しあとに「子ジカは、しげみや草むらでじつとしていいる方が安全」とある。「きけん」かどうかということなので「安全」ということばが答えのヒントになっている。「群れの行動についていくだけの体力が、まだない」というのは、歩くのが遅くて群れからはぐれたり、敵が現れたときに逃げ遅れたりすることであろう。内容の点で理解できていたとしても、「一文」の「はじめの五字」を答えるという問いの条件を守れないと正解にはいたらない。
- 5 A しげみでは、からだのはんもんのおかげで敵から姿をくまますことができる ↓ また ↓ 草むらの草だけが低いので、うずくまると敵に見つからない。
- (「母ジカ」と「いっしょ」にいるよりも「しげみや草むらでじつとしていいる方が」「子ジカ」が「安全」である理由を並べている)
- B 子ジカは草を食べるしぐさをする ↓でも ↓ 食べてはいない。
- (まねだけで実際にはやっていないという部分である)
- 6 I 本文の最後のところにある通りである。「出産」の前後は「群れからはなれて」くらす、が、「子ジカ」が「成長」するともどってくるのであった。
- II 「夜はずつといっしょ」とあった。「授乳のときだけ」「いっしょ」なのは昼の間のことなのである。
- III 「子ジカ」が「やっと立てるようになった」のは「めすジカ」が「山の中にきて」から「数日後」のことであった。
- 竹下文子 『おてつだいねこのクリスマス』
- (設問の都合上、表記の一部を変更しています)
- ③
- 1 「ねこさん、ここよ」と続いている。「ねこ」に話しかけているのは「ゆり子さん」である。
- 2 「メリー」は陽気な、楽しい、愉快なという意味のことばである。「メリー・クリスマス」は楽しいクリスマスを(お過ごしください)という意味の、クリスマス用のあいさつである。
- 3 A 「まるで」はたとえ表現の前につけて、とてもよく似ているという意味をつけ加えることばである。ここでは「白いばうしをかぶったおにisanたち」が「ケーキ」をつくるようすが「手品」のようにあざやかだということである。
- B 「クリスマス・イブ」に「赤い服」「赤い長ぐつ」「赤いぼうし」「白い」「ひげ」のいでたち(＝かっこう)をしている。
- C 「こうですか」の「こう」は「おぎょうぎよく見える」立ち方のことを指している。「ケーキ」をつくる「おてつだい」のつもりで来たのに「サンタクロース」の「かっこう」をさせられた。そのわりには「おぎょうぎよく見えるように」しているし、「なるべく大きな声で」という注文にも素直に従っているのだから、ア「いやですよ」やウ「なぜですか」はあてはまらない。この「店」にきたのは初めてなので、エ「またですか」もあてはまらないだろう。
- D 「ケーキ」を食べたりしていないので「クリーム」や「チョコレート」などのことではない。「サンタクロース」の「口のまわり」にあるものである。
- 4 あとに「なにからおてつだいしましょう」とあって、「クリームですか。チョコですか」と続いている。ケーキの「店」の「おてつだい」をするつもりで来たから、「エプロン」を身につけているのである。
- 5 「クリーム」ということばをさがせばわかったはずである。「つける」ということばもヒントになっている。
- 6 「ケーキ」づくりの「おてつだい」より「もっとだいたいなお仕事」は、「サンタクロース」の「かっこう」をして「店の前」の「クリスマス・ツリーのそばに立って」「なるべく大きな声」で「おいしいクリスマス・ケーキはいかがですか」ということとであった。